

5. 昆虫類調査

5-1 出現状況

昆虫類の確認種一覧を表 2-5-1 に示す。

昆虫類は、春季・夏季・秋季あわせて 15 目 98 科 173 種が確認された。

出現種は、海岸環境を代表するハマベハサミムシやヒメトゲヘリカメムシ、クロアシホソナガカメムシ等、草地環境を代表するバッタ類やホソヒメヒラタアブ、ツバメシジミ等が確認された。

表 2-5-1(1) 昆虫類の確認種一覧表

No.	目	科	種名	貴重種等	5月	8月	9月	備考(確認状況・一般生態)
1	トンボ	イトトンボ	アジアイトトンボ			3	1	
2			アオモンイトトンボ			1		
3		トンボ	ウスバキトンボ			多数		
4	ゴキブリ	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ				1	
5	カマキリ	カマキリ	コカマキリ				1	
6			チョウセンカマキリ			2		幼虫
			カマキリ科の一種		2			幼虫
7	バッタ	マツムシ	ヒロハネカント			14		幼虫
8		カネタタキ	カネタタキ			2		幼虫
9		キリギリス	オナガササキ			2	1	幼虫
10			ホシササキ				6	
			ササキ属の一種		8	1		幼虫
11			ヒメキス		1			幼虫
12			クビキリキス		1	1	3	幼虫(秋季は2個体)
13			ヒカシキリキス		5	1		幼虫
			キリギリス科の一種				18	3 幼虫
			キリギリス科類		11			幼虫
14		ツユムシ	ツユムシ				3	
15	オンブバッタ	オンブバッタ	オンブバッタ			3	2	夏季は幼虫
16	バッタ	ショウリョウバッタ	ショウリョウバッタ		9	5	2	春季は幼虫
17		ショウリョウバッタモドキ	ショウリョウバッタモドキ				1	
18		トノサマバッタ	トノサマバッタ		1	4		幼虫
19		クマルバッタモドキ	クマルバッタモドキ			3	3	
20		コバネイナゴ	コバネイナゴ				1	
21		ツチイナゴ	ツチイナゴ				3	幼虫
			バッタ科の一種		5			幼虫
22	ハサミムシ	ハサミムシ	ハマベハサミムシ		1			平地、海浜に多い
23		オオハサミムシ	オオハサミムシ		1	2	1	河川、海浜の石の下などに生息
24	カメムシ	ヒシウンカ	ヒシウンカ				2	イネ科雑草間に生息
25		ウンカ	ヒメヒウンカ			12	4	
26			コブウンカ			4	3	
			ウンカ科の一種			1	2	
27		シマウンカ	シマウンカ			1		
28		ゲンバウンカ	ヒラタゲンバウンカ			2		
29		アオバハゴロモ	アオバハゴロモ			2	3	
30			トビイロハゴロモ			23	9	
31		ハゴロモ	ベッコウハゴロモ			2		
32		セミ	クマセミ			多数		
33			アブラセミ			多数		
34			ツクツクホウシ			多数		
35		アワフキムシ	ハマヘアワフキ		3			
36		ツノセミ	トビイロツノセミ				2	
37		ヨコバイ	トカリヨコバイ		5	3		
38			サシヨコバイ			2		
39			クロヒラタヨコバイ		1			
			ヨコバイ科の一種		5	16		
			ヨコバイ科類				11	
40		アブラムシ	アブラムシ科の一種		2	2		
			アブラムシ科類				3	
41		マキハサシガメ	ハネナガマキハサシガメ			3		
42		ゲンバイムシ	アワダチソウゲンバイ		7	4	4	
43		サシガメ	ヨコヅナサシガメ		1			
44			トビイロサシガメ		1			
45		ナガカメムシ	ヒメヒラタナガカメムシ		20	1		湿地のスケ類等
46			コバネナガカメムシ		6	1		マコモ、ヨシに見られる
47			ヒメオオカメムシ		2	7	3	
48			ヒメナガカメムシ属の一種		2		10	
49			ヒゲナガカメムシ			2		
50			サビヒョウタンナガカメムシ				2	

表 2-5-1 (2) 昆虫類の確認種一覧表

No.	目	科	種名	貴重種等	5月	8月	9月	備考(確認状況・一般生態)
51	カメムシ	ナガカメムシ	クアシホソナガカメムシ		42	68	2	海浜、河川のイネ科
52			オオカメムシ		1	1		
			ナガカメムシ科の一種				2	幼虫
53		ホシカメムシ	フタモンホシカメムシ			1	2	幼虫(秋季は1個体)
54		ホソヘリカメムシ	ホソヘリカメムシ			1	1	
55		ヘリカメムシ	ホオスキカメムシ			4		
56			ホソヘリカメムシ		2		1	
57			ヒメケヘリカメムシ		1			乾燥地の雑草根際・海岸地帯に多い
58			ハラビロヘリカメムシ				1	幼虫
59		ヒメヘリカメムシ	フチヒゲヘリカメムシ		1			
60		カメムシ	ウシカメムシ				1	幼虫
61			フチヒゲカメムシ		1		1	
62			ムラサキシラホシカメムシ		1			
63			シラホシカメムシ		1			
64			チャハネアオカメムシ				1	幼虫
65			イネクロカメムシ		1			
66			ヒメクロカメムシ			1		乾燥地のイネ科群集に見られる
			カメムシ科の一種		1			幼虫
67		カスミカメムシ	ツヤマルカスミカメ属の一種			1	6	
68	アミメカゲロウ	クサカゲロウ	クモンクサカゲロウ		1			
69			ヤマトクサカゲロウ		3	1	1	
70		ウスバカゲロウ	コカスリウスバカゲロウ			2		成虫と幼虫:幼虫は海浜の松の根際に生息
71	コウチュウ	オサムシ	オサムシモドキ		4			
72			ミスギワトキリゴミムシ		2			
73			ヒラタゴモクムシ		4			
74			アカアシマルガタゴモクムシ		1			
75		ホソクビゴミムシ	ミイデラゴミムシ		1			
76		エンマムシ	ルリエンマムシ		1			
77		シテムシ	ヒメハラシテムシ				1	
78		ハネカクシ	ツヤウミハネカクシ				1	海浜のゴミや海藻の下に生息
79			アオハアリガタハネカクシ		1	2		
80		コガネムシ	コアオハナムグリ		1			
81			シロテンハナムグリ			1		
82		タマムシ	ヒシモンナガタマムシ				4	
83			ホソツツタマムシ		1			スキの環境
84		コメツクムシ	クシコメツク		1			
85			クロコハナコメツク			1		
86			コハナコメツク		2			
87			アカアシコハナコメツク				3	ハマヒルガオ、コウホウムキ等の群落中に生息
88		ジョウカイボン	セボシジョウカイ		1			
89		ジョウカイモドキ	クロキオビジョウカイモドキ	●	1	10	2	海岸、河口などの荒地に生息
90		テントウムシ	ミスギキイロテントウ				1	外国からの移入種
91			ナナホシテントウ				1	
92			マクガタテントウ			1		
93			ナミテントウ		2		1	
94			キイロテントウ			5		
95			ヒメメノコテントウ		3	1		
96		アリモドキ	ケオビアリモドキ				1	
97		ゴミムシダマシ	マルチビゴミムシダマシ		1	2		ハマヒルガオなどの群落地に見られる
98			コスナゴミムシダマシ			1		
99			オオスナゴミムシダマシ				1	
100			カクスナゴミムシダマシ		2			砂地
101			ヒメカクスナゴミムシダマシ		1	22	1	砂地
102		ハムシ	アオバネサルハムシ		6		1	ヨモギを食する
103			タケイマゾウムシ属の一種				1	
104			イモサルハムシ		1			サツマイモ、ヒルガオを食する
105			ドウガネサルハムシ				2	
106		オトシブミ	クロケシツブチョッキリ			1	1	
107		ゾウムシ	オビテオゾウムシ			1		センダンの葉捲き中に見られる
108			マダラヒメゾウムシ			1		
109			スクリゾウムシ		1		1	
110			ミゾウムシ属の一種		1	7		
111			トビイロヒョウタンゾウムシ				3	
			サビヒョウタンゾウムシ属の一種		1			
			ゾウムシ科の一種				2	
112	ハチ	ミフシハバチ	アサシチュウレンジ			2		
113		コマユバチ	ヒメキイロウラコマユバチ		6	5		
			コマユバチ科の一種			1		
			コマユバチ科類		2			
114		ヒメバチ	ヒメバチ科類				3	
115		アシブトコバチ	キアシブトコバチ			1		
116		コツチバチ	コツチバチ属の一種		10		5	
117		ツチバチ	コモンツチバチ			1		

表 2-5-1 (3) 昆虫類の確認種一覧表

No.	目	科	種名	貴重種等	5月	8月	9月	備考(確認状況・一般生態)	
118	ハチ	ツチハチ	オオモンツチハチ			2			
119			キオビツチハチ		1				
120		アリ	クロヤマアリ		3	4	1		
121			ルリアリ			1			
122			トビイロケアリ			1			
123			ムネホソアリ			1			
124			オオスアリ			1	1		
125			アミアリ			1			
126			トビイロシワアリ			1	1		
127		トロハチ	ミカドトロハチ			1			
128		スズメハチ	フタモンシアナガハチ		2	1	1		
129			キホシアナガハチ			1			
130		キングチハチ	アカオビケラトリ			1			
131		アナハチ	クロアナハチ				1	ハツタ類、ツコムシ類の幼虫を狩る	
132	コハナハチ	アカネコハナハチ		1	1	6			
		コハナハチ科の一種				2			
133	ハキリハチ	キヌゲハキリハチ			1				
134	コシブトハナハチ	クマハチ			2				
135	ハエ	ガカンボ	ガカンボ科の一種		1	3	1		
136		カ	ヤブカ属の一種			2			
137		ユスリカ	ユスリカ科の一種		1				
			ユスリカ科類					3	
138		ケバエ	ヒメセグロケバエ			5			
139		ミスアブ	コウカアブ			1	1		
140		ツリアブ	スキハツリアブ		1				
			Villa属の一種					1	アリジゴクツリアブの可能性はある
141		ツルギアブ	ツルギアブ科の一種			1			
142		ムシキアブ	シオヤアブ			1			
143			ヒサマツムシヒキ		2				
144		オドリバエ	オドリバエ科の一種			2			
145		アシナガバエ	アシナガバエ科の一種			1	1		
146		アタマアブ	アタマアブ科の一種		2	7	6		
147		ハナアブ	ツヤヒラタアブ		2				
148			ホソヒシラタアブ		5		2		
149		ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ			1			
150		シマバエ	Homoneura属の一種			9	2		
151		キモグリバエ	キモグリバエ科の一種			5	1		
			キモグリバエ科類		4				
152		イエバエ	イエバエ科の一種			21			
			イエバエ科類			5			
153		クロバエ	ツマグロキンバエ				2		
154			キンバエ属の一種		1				
155		ニクバエ	ホンシュウホソニクバエ			10	1		
156			コニクバエ			2			
			ニクバエ科の一種			2	1		
		ニクバエ科類		4					
157	ヤドリバエ	ヤドリバエ科の一種		2					
158	チョウ	ハマキガ	フタモンカガリハヒメハマキ				1		
159		ミノガ	ネグロミノガ					1	藁と幼虫:イネ科草本を食す
160		ツトガ	シロオビノメイガ			4	3		
161			ツトガ亜科の一種		1		2		
162		セセリチョウ	イチモンジセセリ			1	1		
163			チャバネセセリ			1			
164		アゲハチョウ	キアゲハ			2			
165			ナミアゲハ			1			
166			シジミチョウ	ツバメシジミ		1			
167			ヤマトシジミ			多数	1		
168		タテハチョウ	ツマグロヒョウモン			2			
169		シヤクガ	ベニヒメシヤク		1				
170		ヤガ	タマナキンウワバ		1				
171			オオタバコガ					1	
			ヤガ科の一種					1	幼虫
172	スズメガ	コススズメ		1					
173		セスジスズメ				1			
合計 15目98科173種				1種	82種	105種	85種		

注) 重要種は以下を示す。

記念物: 「文化財保護法」(昭和25年法律第214号)に基づく天然記念物及び特別天然記念物

保存法: 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年法律第75号)に定められた国内希少野生動植物種

環境省: 「レッドリスト 昆虫類」(環境省(報道発表資料)、2007年)の掲載種

三重県: 「三重県レッドデータブック2005 動物」(三重県、2005年)の掲載種



5-2 重要種の生息状況

重要種の確認位置を図 2-5-1 に示す。

重要種として、3 季を通じてクロキオビジョウカイモドキ 1 種が確認された。

本種は砂浜の海岸や河口のヨシ原に生息する種であり、三重県レッドデータブックにおいて絶滅危惧Ⅱ類 (VU) に指定されている。各季とも、任意採集法 (スノーピング) により海岸砂丘の低茎草地で確認された。

三重県レッドデータブックに示された生態等を以下に示す。

クロキオビジョウカイモドキ <i>Intybia niponicus</i> (Lewis)		三重県：絶滅危惧Ⅱ類 (VU) 国：— コウチュウ目 ジョウカイモドキ科
選定理由 既知の生息地点数は 5 以下で、生息環境が限定される。		
種の概要 体長 3.1~3.8 mm. 体は黒色で上翅には黄色の横帯があり、雄の触角は特異な形をしている。砂浜の海岸や河口のヨシ原に生息している。		
分 布 北海道、本州、四国、九州に分布。県内では四日市市四日市・楠町吉崎海岸、鈴鹿市鼓ヶ浦海岸、津市津海岸、松阪市松名瀬海岸で記録されている。		
現状・減少要因 河川改修や海岸の護岸整備などにより、自然度の高い河口や砂浜にのみ生息しているだけとなった。		
保護対策 ルリキオビジョウカイモドキと同様に、自然度の高い砂浜の海岸や河口のヨシ原の保全が急務である。		
特記事項 ルリキオビジョウカイモドキと比較すると生息地域は広く、今後砂浜の海岸や河口のヨシ原の調査が進めば、志摩半島以南の地域からも発見される可能性が高い。		
文 献 223, 225, 337.	(生川展行)	<p>クロキオビジョウカイモドキ 松阪市産 1996年6月30日 稲垣政志撮影</p> 

出典)「三重県レッドデータブック 2005 動物」(三重県、2005 年)



図 2-5-1 クロキオビジョウカイモドキの確認位置